

令和5年度在宅医療講演会アンケート集計結果概要について

【資料第2号】

開催日時:令和5年9月23日(土)

テーマ:「人生会議をご存じですか～もしものときに希望する医療・ケアについて～」

講師:一般社団法人 コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室

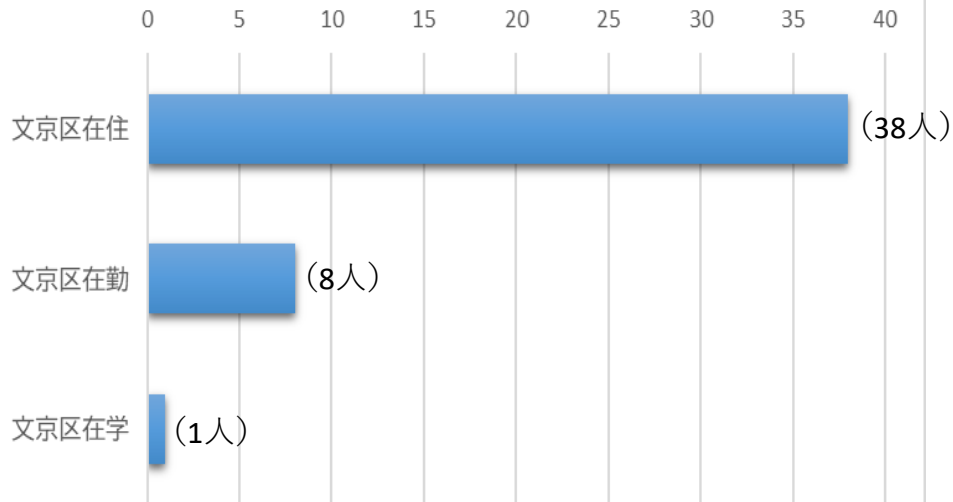
山岸 暁美氏

参加者数:47人

【参加者の状況】

〈区在住・在勤・在学の別〉

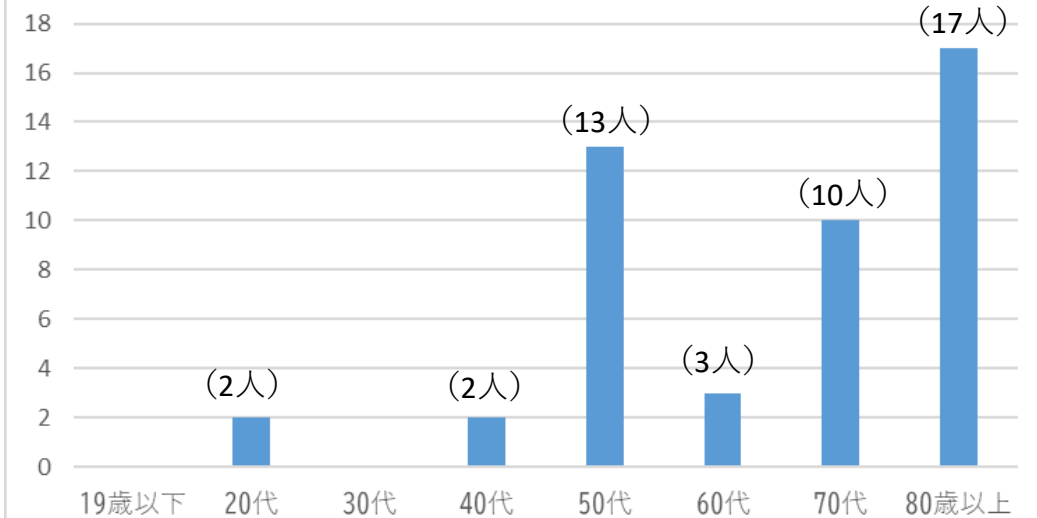
文京区在住・在勤・在学の別



「文京区在住」の参加者が全体の8割を占めた。

〈講演会に参加した方の年代〉

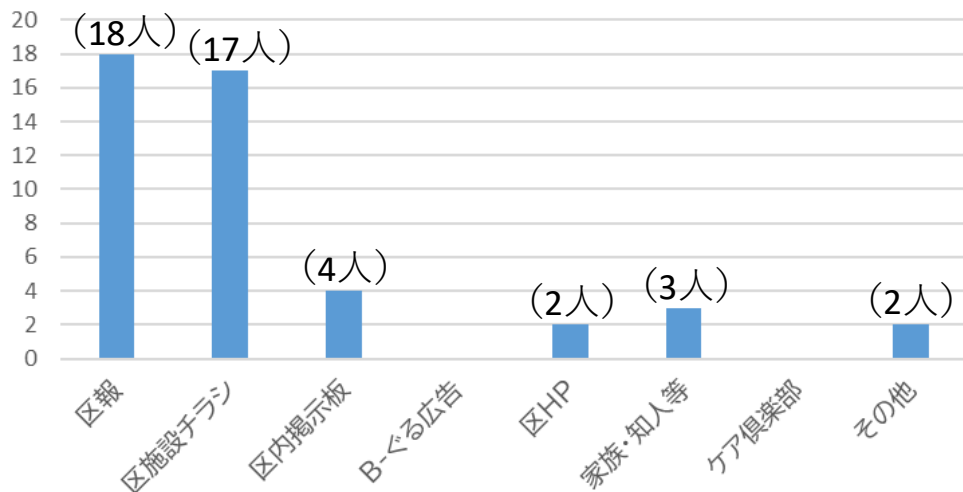
年代



参加者の約6割が70代以上であった。

〈講演会を知るきっかけ〉

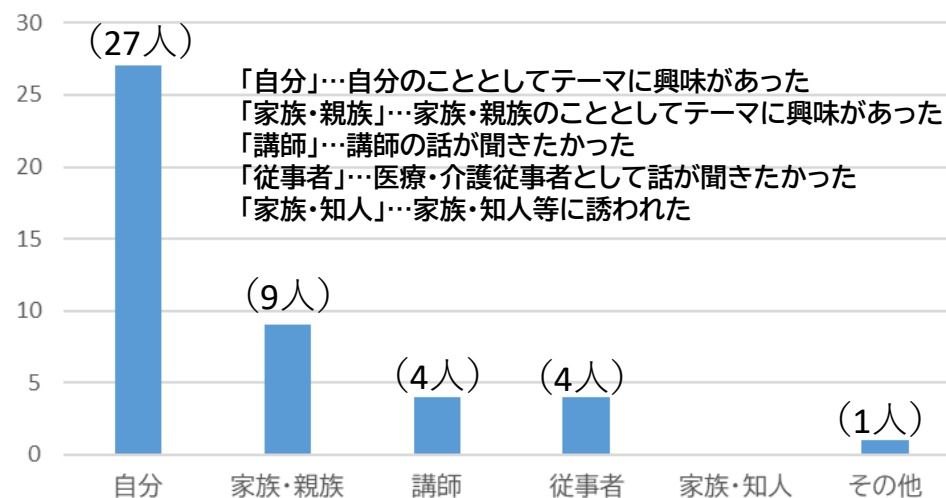
講演会を何で知ったか



参加者の75%程度が「区報」と「区施設チラシ」で講演会を知った。

〈講演会に申し込んだ理由〉

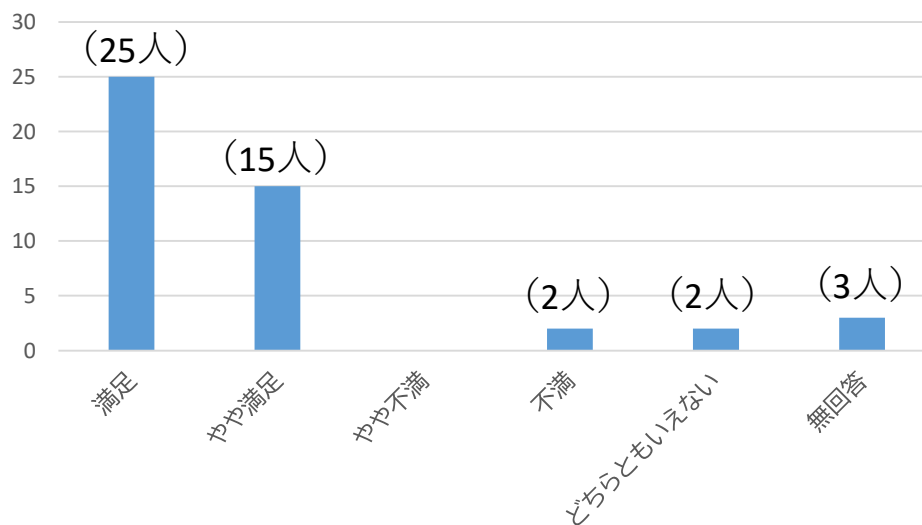
申し込んだ理由



参加者の6割が「自分のこととしてテーマに興味があった」を選んだ。

〈講演会の満足度〉

満足度



参加者の約85%が「満足」、「やや満足」を選んだ。

【自由意見】(抜粋)

【運営に関すること】

- ・「文の京セレクション」大変ありがたい。(70代)
- ・講演はすべて良かったが、少々長かった。(80歳以上)
- ・質問の時間がもう少し長いと良かった。(50代)

【講演内容に関すること】

- ・かかりつけ医を持つということ、医療につながっていない人をつなげることも大事だとも感じた。(40代)
- ・かるた×こどもプロジェクト、とても良い取組だと思った。(50代)
- ・今日の話聞き、息子や娘に伝えておきたいことを言葉で伝えておきたいと思った。分かり易く身近なこともお話しただいて親しみが湧いた。(80歳以上)
- ・分かりやすく、やさしい語り口でお話してくださりととても良い講座だった。今後の生き方などに参考にさせていただく。(80歳以上)
- ・データや事例が多く、とてもわかりやすかった。(50代)
- ・ACPの基本がわかってとても有意義だった。(50代)
- ・一番の悩みのお話で大変勉強になり、元気なうちに話し合い(自分の意思)をはっきりしておきたいと思う。(80歳以上)
- ・この講演で包括的かつ具体的にACPのことを学べて非常にためになった。文京区でも松戸市のプロジェクトのような企画をお願いしたい。(50代)
- ・人生会議は必要ということはわかっていたものの、大切な人の終わりに触れるようで、少し恐怖も感じていた。講義を聞いて、「生きるための会議」であり、何かと決定しなくてもプロセスが大事であることを学び、もっと気楽に始めてみようと感じた。まずは身近な人や自身の価値観を知ることから始めたい。(20代)
- ・とても楽しく聞いた。重いテーマであるが、もっとラフに語り合えることだと思った。子供たちに普通の会話の中に取り入れられたら、と考えている。(70代)
- ・とても良い話だった。松戸市のしかけ(子どもへの出前講座、かるた作り)いいな、と思った。仕掛け作りが重要と思った。今回の講演をきっかけに、区民に考えていただくきっかけが広がれば、と思う。(50代)